

第 13 回 国立長寿医療研究センター 国際シンポジウム

開催テーマ: 「老化研究の最前線」

~炎症、免疫そして認知機能の集積回路~

日時: 平成 30 年 2 月 3 日 9:20~16:50

場所: あいち健康プラザ プラザホール

9:20~9:25 開会のご挨拶

国立長寿医療研究センター 鳥羽 研二先生

9:25~11:45 セッション 1

老化細胞を標的とした介入や組織の恒常性に回復に関する研究

座長: 赤木 一考先生、杉本 昌隆先生

1. Tohoku Medical Megabank Project

- A National Challenge to Realize Personalized Medicine

東北大学大学院医学研究科医科学分野

東北メディカル・メガバンク機構 山本 雅之先生

2. Gateway Reflex, a New Concept in Neuroimmunology

北海道大学遺伝子病制御研究所

大学院医学研究科分子神経免疫学分野 村上 正晃先生

3. Targeted Apoptosis of Senescent Cells Restores Tissue Homeostasis in Response to Chemotoxicity and Aging

オランダ エラスムス大学医療センター

Marjolein P. Baar 先生、Peter L. J. de Keizer 先生

4. Cellular Senescence, Senolytics, Chronic Diseases, and Aging

米国 メイヨー・クリニック James L. Kirkland 先生

12:00~12:50 ランcheonセミナー

座長: 文堂 昌彦先生

免疫、炎症と中枢神経システム

山口大学大学院医学研究科 神経内科学講座 神田 隆先生

13:00～14:45 **セッション 2**

神経、認知機能の解明に向けた分子スクリーニング、画像解析戦略

座長：木村 展之先生、里 直行先生

1. Deciphering Alzheimer's Disease Pathogenesis from Gene Co-Expression Networks

国立長寿医療研究センター 飯島 浩一 先生

2. PET Imaging of Neuroinflammation in Neurodegenerative Diseases

国立長寿医療研究センター 木村 泰之 先生

3. In Vivo Depiction of Neuroinflammation on The Cholinergic System and Cognition in Humans

浜松医科大学 生体機能イメージング研究室 尾内 康臣先生

15:00～16:45 **セッション 3**

加齢に伴う慢性炎症疾患や全身性の機能障害

座長：佐藤 亜希子先生、松下 健二先生

1. Somatic Retrotransposition in Cellular Senescence and Aging

米国 ブラウン大学 分子生物学・細胞生物・生化学部門

分子医学教室 John M. Sedivy 先生

2. Impacts of Thymic Involution on Peripheral T Cell Homeostasis and Immune-Senescence

京都大学 iPS 細胞研究所 濱崎 洋子先生

3. Epigenetics of Lymphocyte Longevity/Senescence

イタリア IFOM-FIRC 分子腫瘍学研究所 Stefano Casola 先生

16:45～16:50 閉会のご挨拶

国立長寿医療研究センター 丸山 光生先生